

参加費 **38,880円**(1名様につき) ※消費税・地方消費税2,880円含む

●お申し込み方法

- 下記「参加申込書」にご記入後、下記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証／請求書／銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名刺1枚」と共にお渡し願います。
- 開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- 参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- お振込みが開催後日になる場合は、下記「振込予定日」欄にご記入ください。
- お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- 当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に☑印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- 代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- 開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名／氏名／電話番号／返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560にて必ずご連絡ください。
- 返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- お座席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
- 会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- 主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

フリーダイヤルFAX番号
0120-05-2560
総合ユニコム株式会社

左記のFAXが通じない場合は
03-3564-2560におかけ直し下さい。
企画事業部 TEL03-3563-0099(直通)

セミナー参加申込書

VR活用&事業創造研究講座

●会社名(フリガナ)		●貴社業種
		●振込予定日(月 日) ●当日現金支払い希望・・・ ☐ ●ご担当者名()
●所在地(〒)		
TEL () ()		FAX () ()
●出席者名①(フリガナ)	●所属部署・役職	VR PARK TOKYO ●視察体験 ☐ 有 ☐ 無
●E-mailアドレス		
●出席者名②(フリガナ)	●所属部署・役職	VR PARK TOKYO ●視察体験 ☐ 有 ☐ 無
●E-mailアドレス		

☎0320170714-050



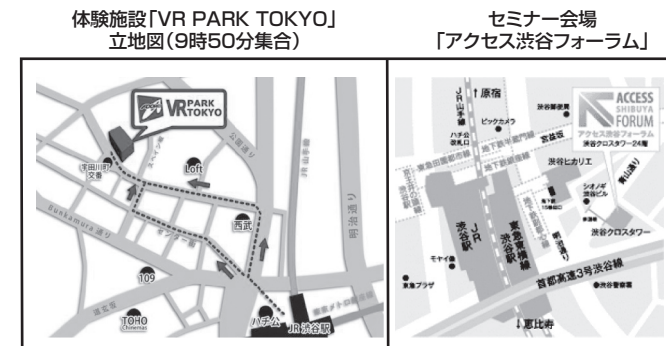
ごあんない

VR(バーチャル・リアルティ／仮想現実)元年とも呼ばれた2016年は、高性能なヘッドマウントディスプレイ(VRの再生端末)の多数登場及びコンテンツの急速な増加を背景として、VR市場が大きく発展した一年でした。17年は、高い汎用性を持つVR活用の範囲は、ゲーム・エンタメ分野に留まらず、商業施設・不動産販売・教育・医療・観光等へと、多岐に亘ろうとしており、顧客の目的に即して、満足度を高めています。

では、VRが持つポテンシャルを、レジャー・サービス産業はどのように活用していけば、集客・収益向上を実現できるのでしょうか。

本セミナーでは、第一講座で広田稔氏(株)パノラプロ)に市場動向や主要産業界における事例を通して、事業創造のヒントやVRを自社サービスへ落とし込むためのポイント等を解説いただきます。第二講座では実際にVR施設を展開中の石井学氏(アドアーズ(株))、VR企画検討、開発を行なう足立光氏(株)電通)、芳賀洋行氏(InstaVR(株))により、VR導入の事業効果・今後の可能性についてディスカッションいただきます。

またセミナー参加者の皆様にはアドアーズの最新店舗「VR PARK TOKYO」にて、最新VRの施設体験、またセミナー会場でもデモ体験をしていただきます。VRを自社事業に活用して集客・売上げ効果を図ったり、新事業を創造するためのヒントを探ってまいります。



総合ユニコム株式会社

お問合せ：企画事業部 TEL 03-3563-0099

ホームページアドレス <http://www.sogo-unicom.co.jp>
※ホームページでは、総合ユニコムの出版物・セミナーのご案内をしています。

お願い：ダイレクトメールの送付先変更または中止をご希望の方は、お手数ですが封筒ラベルに要件をご記入の上、総合ユニコム(株)企画事業部までFAX(03-3564-2560)にてご連絡ください。

VRは、レジャー・サービス産業にどう活用されるのか

事例
から学ぶ

VR活用&事業創造研究講座



VRエンターテインメント施設「VR PARK TOKYO」体験 VR最新コンテンツ デモ体験

- VRの特性・活用手法を知り、既存事業への活用、集客・販促など事業収益向上へ結ぶために必要なポイントを学ぶ
- 先進事例とVR体験から、自社の既存サービスへVRを落とし込むために必要な事業創造のヒントを知る

【基調講演】

VRを巡る最新動向

(株)パノラプロ 代表取締役 広田 稔

【パネルディスカッション】

VRの活用をレジャー・サービス産業はどう進めていくか

アドアーズ(株) 取締役 石井 学

(株)電通 次世代領域推進部長 足立 光

InstaVR(株) 代表取締役社長 芳賀 洋行

と き 2017年7月6日(木) 9:50~11:40〈視察体験〉
13:30~17:00〈セミナー〉

集 合 場 所 VR PARK TOKYO
東京都渋谷区宇田川町13-11 KN渋谷1ビル4階

セミナー会場 アクセス渋谷フォーラム
東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー24階 TEL 03-5774-2310

主 催 総合ユニコム株式会社 月刊レジャー産業 資料
〒104-0031 東京都中央区京橋2-10-2 ぬ利彦ビル南館
TEL.03-3563-0099(直通) FAX.03-3564-2560

■ セミナープログラム

9:50～11:40〔VR施設体験〕

VRエンターテインメント施設「VR PARK TOKYO」体験

最新VRを体験いただき、VRにより広がる事業創造の可能性を体感いただきます。

施設説明：アドアーズ(株) 企画開発部 課長 袴田 健

※視察体験後、一旦解散し、各自昼食をお済ませいただいた後に、セミナー会場に再集合いただきます。

13:30～14:30〔セミナー〕

I. VRを巡る最新動向

——産業界を動かすポテンシャル・可能性

- そもそもVRとは？ なぜVRが注目され始めたのか？
 - ・ VRは何がすごいのか？
 - ・ 汎用性が高いプラットフォームとしてのVR
- VR市場の動向、急速に進むハードウェアとコンテンツの充実
 - ・ ロケーションVRの拡充:B to B市場での注目度・海外における動向と先進事例
 - ・ 今後のVRの発展可能性～AR(拡張現実)とMR(複合現実)
- 今後の技術革新の行方——VRの拡充から体験価値の重要性が高まる
- レジャー産業でVRを活用するポイント
 - ・ VR導入のメリット、デメリット
 - ・ VRコンテンツ自体で集客するのか？ 自社サービスへの入口としてVRを利用するのか？
 - ・ 自社サービスへどのようにVRを組み入れていくのか

講師：広田 稔 (株)パノラプロ 代表取締役

14:45～16:30

II. パネルディスカッション

——VRの活用をレジャー・サービス産業はどう進めていくか

- VRが変える「遊び」「余暇」「消費」の未来像とは
- VRの活用によるレジャー・サービス産業事業者のイノベーション
- VR導入プロセスとオペレーションの実例～VR導入は本当に効果的なのか？
- パネリスト各社の活用実態

パネラー：石井 学 アドアーズ(株) 取締役

足立 光 (株)電通 ビジネススクリエーションセンター ビジネスイノベーション戦略室 次世代領域推進部長

芳賀 洋行 InstaVR(株) 代表取締役社長

司会進行：広田 稔 (株)パノラプロ 代表取締役／VRジャーナリスト

13:00～13:30(セミナー開始前)+16:30～17:00(セミナー終了後)

III. VR体験

※VR体験ブースを設けて、コンテンツをデモ体験していただきます。

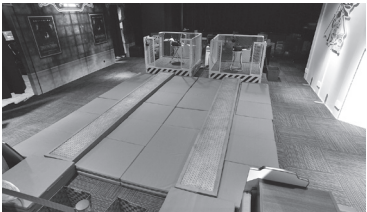
■ セミナーの目的

- ◆ VRとは？ なぜVRが注目され始めたのか
- ◆ VRを自社事業に導入すると、どんな効果があるのか
- ◆ B to B市場での注目される国内外の先進事例とは
- ◆ レジャー産業・各種サービス産業でVRを活用するポイントは——顧客満足を満たす技術は進化し続けています。

■ 視察体験施設「VR PARK TOKYO」

VRを気軽に体験できるVR専用施設として2016年12月16日にアドアーズ(株)が開業。7種8台の多種多彩なVRアトラクションが導入されている。魔法の絨毯に乗り冒険するVRライドや、ブランコ状のハーネスに吊るされた状態でワイヤーが上下して上昇・落下体験を楽しめるジャングルバンジーVRなど、最新アトラクションが揃う注目の施設。

- ・ 営業時間：10:00～23:45
- ・ 営業面積：323 m²
- ・ コンセプト：都市型VR エンターテインメント施設
- ・ 設置マシン：7機種(8台)
- ・ 入場料金：●予約入場 2,900円
●当日入場 3,300円
(公表時点の価格です)



■ 講師プロフィール

広田 稔 (ひろた みのもる) (株)パノラプロ 代表取締役／VRジャーナリスト

アスキー(元KADOKAWA)にて雑誌の編集者、ウェブ媒体の編集記者を経験後、独立。アップルやインターネットサービスを専門に取材するなか、昨今のVRムーブメントに出会い、2013年より取材を始める。その後、専門媒体の必要性を感じて14年11月に「PANORA」を立ち上げ、VRエヴァンジェリストとして活躍する。

石井 学 (いしい まなぶ) アドアーズ(株) 取締役

1989年(株)シグマ(現アドアーズ(株)) 入社。ゲームファンタジア立川店(現アドアーズ立川店)店長を経て、店舗運営部にてエリアマネージャー、企画課課長、商品課課長、営業推進課課長、経営企画部次長を歴任ののち、2012年6月取締役アミューズメント統括本部本部長。15年6月取締役 店舗営業部・運営管理部・コンテンツ事業部担当。16年6月(株)ブレイク 代表取締役社長(現任)、16年6月取締役 企画開発部担当(現任)。

足立 光 (あだち ひかる)

(株)電通 ビジネススクリエーションセンター ビジネスイノベーション戦略室 次世代領域推進部長

1990年電通入社当初からCGやVR技術を活用した表現を模索し、任天堂、リクルート、パナソニック、P&G、味覚糖などのデジタルクリエイティブ業務に従事。現在は電通でVRを推進するなかで、B to Cコンテンツ企画やB to Bソリューション制作、VRメディアの開発のサポートを行なう。VRの大衆化を目指し、ネットカフェを中心とした商業施設やホテルなど、リアル拠点でのリッチなVR体験を提供するだけでなく、VR開発者のマネタイズに貢献していくための「VRシアター」を企画・推進する。

芳賀 洋行 (はが ひろゆき) InstaVR(株) 代表取締役社長

1990年代からVRに関わり、CG世界最大手の米オートデスク、グリーを経てInstaVR(株)を創業し、誰でも簡単にすばやくVR体験を作成・配信できるVR作成ツール「InstaVR」を提供。InstaVRはサンリオエンターテインメント、トヨタ、日建設計、エクスペディア、スミソニアン博物館、スタンフォード大学など世界140か国、10,000社に採用されている。コンピュータサイエンス学士。経営学修士(MBA)。